News Release

2025年5月30日

報道関係各位

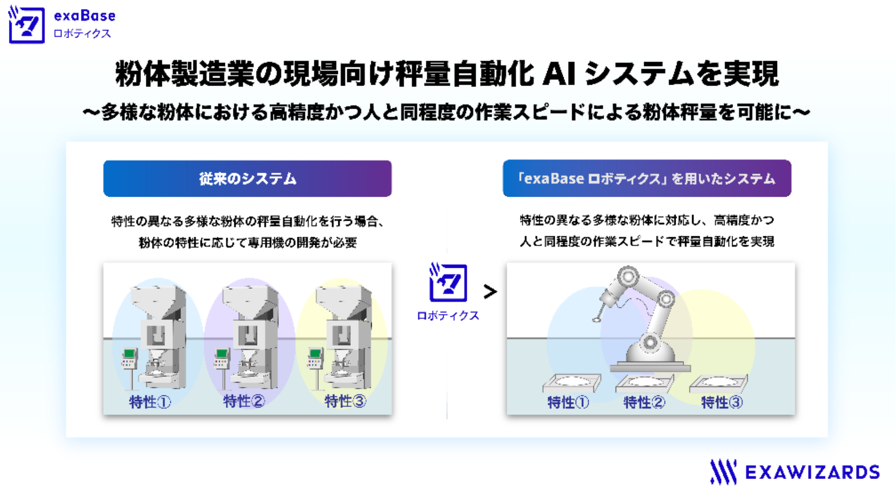
「漢方バリューチェーンのDX化」実現に向け

漢方製剤の秤量を自動化する AIロボットプラットフォームを導入

～品質試験の効率化を図るとともに、さらなる作業品質の均一化を実現へ～

株式会社ツムラ（本社：東京港区、代表取締役社長CEO：加藤照和、以下当社）は、漢方製剤の品質試験作業において、株式会社エクサウィザーズ（本社：東京都港区、代表取締役社長CEO：春田 真、以下エクサウィザーズ）が開発した秤量自動化プラットフォームの本稼働を目指し、導入することをお知らせいたします。

本プラットフォームの導入は、当社が掲げる第2期中期経営計画の戦略課題の1つである「最高の顧客体験価値の創造を目的とした漢方バリューチェーンのDX化による安定供給・ローコストオペレーション体制の確立と製品価値の向上」の実現に向けた取り組みの一環であり、本プラットフォームを通じて品質試験の効率化を図るとともに、作業品質のさらなる均一化を目指してまいります。



■AIロボットプラットフォームの導入について

当社グループでは129処方の漢方製剤を製造・販売しており、品質試験作業においては、漢方製剤の品質試験、検体処理作業の効率化が課題となっておりました。そうした中、課題の解決に向けエクサウィザーズがこれまで開発してきた粉体秤量※1の技術アセットを活用し、粉体の特性情報を収集、AIに

お問い合わせ先
株式会社ツムラ　コーポレート・コミュニケーション部　広報課 担当：瀬戸、吉崎
〒107-8521 東京都港区赤坂2-17-11　TEL.03-6361-7100 FAX.03-5574-6630

学習させることができるプラットフォームを導入いたしました。現在は試験稼働の段階であり、稼働開始後は多品種の粉体への対応に加え、秤取量の適用範囲の拡大も実現可能となる見込みです。

■AI ロボットシステムの概要

本プラットフォームは多種多様なデータを活用して、工程の自動化や最適化を可能にするエクサウィザーズの「exaBase ロボティクス」の技術アセットを活用した AI ソリューションです。従来は、特性の異なる粉体の秤量自動化を行う場合、それぞれの粉体の特性に応じた専用機の開発が必要でしたが、特性の異なる多様な粉体に対応し、高精度かつ人と同程度の作業スピードでの秤量自動化が実現可能となります。

■今後の展望

当社グループでは、2025 年 5 月に「第 2 期中期経営計画（2025 年度－2027 年度）[※2]」を新たに策定し、戦略課題の 1 つとして「最高の顧客体験価値の創造を目的とした漢方バリューチェーンの DX 化による安定供給・ローコストオペレーション体制の確立と製品価値の向上」を掲げております。

今後もデータの一元化や標準化、生成 AI の活用など、さらなる DX 改革に取り組みを通じて、患者様一人ひとりに安心して服用いただける均質な漢方製剤を、より迅速かつ効率的にお届けしてまいります。

※1：粉体秤量

エクサウィザーズは粉体製造業の現場向けに、粉体の掬（すく）い取り動作を学習した AI モデル搭載のロボットシステムを開発しています。掬い取り制御（粉体容器に対して、適切な粉体掬い取り位置を推定し一定量掬い取る[※3]）と、振り落とし制御（掬い取った粉体を振り落とし、目標となる秤取（ひょうしゅ）量を達成する）の 2 つの動きをロボットに学習させることで、多様な粉体における高精度かつ人と同程度の作業スピードによる粉体秤量を可能としました。

※2：第 2 期中期経営計画（2025 年度－2027 年度）について

https://www.tsumura.co.jp/news/newsrelease/item/20250512_5.pdf

※3：特許出願済

【エクサウィザーズについて】

企業 HP：https://exawizards.com/

ニュースリリース：https://exawizards.com/archives/30193/

以上